

第490回番組審議会報告

- 開催日 : 令和2年9月30日(水)
- 場所 : 山形グランドホテル
- 出席委員 : 鬼武一夫 委員長/杉山健二 副委員長/中川愛美 委員
堀内史子 委員/手塚孝樹 委員/鈴木雅史 委員/水山和敬 委員
- 議事内容 : ◎社側報告
1. 挨拶 横沢代表取締役社長
- ◎審議事項
1. 番組・視聴率・制作関連 黒須編成制作局長兼編成部長兼番組審議会事務局長
 2. 報道関連 安部役員待遇報道局長
 3. 意見集約
- ◇第89回系列番組審議会委員代表者会議の議題
「新型コロナウイルス報道とテレビの役割」
- ◎その他

内容 :

山形テレビの第490回番組審議会が開かれ、「新型コロナウイルス報道とテレビの役割」について意見交換を行いました。

報道・情報番組は、新型コロナウイルス関連のニュースや話題を、連日時間を取って放送してきました。これらの放送のなかで、正確な報道が迅速になされているか、国民の不安やストレスを緩和することができるかなど、多角的な視点で新型コロナウイルス報道を検証し、今だからこそ求められるテレビの役割を考えました。

出席した委員からは、

「未知の感染症であるため多様な視点が必要になるが、コメンテーターの断定的な意見、出演する専門家の固定化が気になった。」

「正確かつ迅速な報道だけではなく、視聴者の混乱を招かぬような内容を見極めるべき。」

「感染者がない場合でも、関連ニュースを連日報道することで、県民への感染対策の意識づけになる。繰り返し放送することへの意義を感じた。」

「『事実を伝えること』『主観を交えて能動的に伝えること』この2つのバランスを意識することでよりよい報道になると思う。」

「新たな生活様式になり、日常が変化した人が大勢いるはず。この現状に焦点をあててみては。」

「『羽鳥慎一モーニングショー』では、感染症と医療の実態について重要な提言をされており感心した。またパネルなどを利用し分かりやすく、かつ視聴者の不安を軽減させる伝え方をしていた。」などの意見が出されました。

以上